

# 体 育 科 学 習 指 導 案

日 時 平成28年10月6日(木)

5校時

児 童 1年1組 男子15名 女子13名  
2年1組 男子19名 女子14名

場 所 白糠小学校体育館

授業者

## 1. 単元名 それいけ！おたすけマン！

(体づくり運動② 「体ほぐしの運動」「多様な動きを高める運動遊び」)

## 2. 単元について

### (1) 単元のねらい

体づくり運動は「体ほぐしの運動」と「多様な動きをつくる運動」および「体力を高める運動」から構成されている。そのうち、低学年では、「体ほぐしの運動」「多様な動きをつくる運動」を取り扱うこととなっている。また、手軽な運動や律動的な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって、自分の体の状態に気付き、体の調子を整えたり、仲間と豊かに交流したりすることができることをねらいとして行われる運動である。多様な動きをつくる運動遊びは、体のバランスをとったり移動をしたりする動きや、用具を操作したり力試しをしたりする動きを意図的にはぐくむ運動遊びを通して、体の基本的な動きを総合的に身に付けることをねらいとして行う運動である。

これらのうち本単元では、「体ほぐしの運動」として、動作や人数などの条件を変えて、仲間と協力して取り組む「チャレンジ運動」を行う。「チャレンジ運動」とは、小グループで肯定的な声をかけ合い、協力し課題を達成する活動であり、運動の技能差に関係なく取り組める活動である。「多様な動きをつくる運動」として体のバランスをとる運動遊びを行う。主に平均台を扱い、さまざまな場でバランスを取りながら移動する運動を行っていく。

### (2) 児童の実態

本校では、平成30年度から小中一貫教育をスタートするにあたって、6年生の中学校登校や運動会・夏期学習会での中学生ボランティアの活用を通し小中連携を図っている。縦のつながりを意識し、小学校でも異学年交流を積極的に活用している。全学年単学級であり、小学校から9年間同じメンバーで過ごすことで人間関係が固定化し、小集団でのコミュニケーションに終始し、相手意識を持った行動・言動に課題が見られる。低学年から様々な集団との関わりを体験し、相手に応じたコミュニケーションができるようにしていく必要がある。

低学年の児童は、運動会の「大玉転がし」「遊戯」で合同学習を行ってきている。大玉転がしでは、2年生と1年生でペアを組み、整列から競技まで2年生が1年生をリードする姿が見られた。低学年ということもあり、男女関係なく協力し活動できた。体育の好きな児童が多く、運動にも積極的に取り組んでいる。

新体力テストでは、立ち幅跳びと50m走に課題があり、ソフトボール投げの様子からボール投げなど多様な動きの運動経験が必要だと考えた。また、体育部会においても町内の小中学校で新体力テストの結果を交流し、中学校から運動習慣をつけることが難しいことから、小学校では「運動を好きにさせること」「体育以外にも進んで運動したくなるような教材開発」「多様な動きを経験させること」が大切であることを確認した。

### (3) 指導観

本単元の学習を通して、体を動かすことの楽しさや汗をかくことの気持ちよさ、仲間と協力することの面白さなどを感じさせていきたい。特に、本校の特徴でもある全学年単学級ということを生かし、異学年による合同授業を通して、上級生から下級生へ「教える」、下級生から上級生へ「たずねる」、お互いによる動作への「賞賛する」などの言語活動によるかかわり合いが期待できる。その際、児童の運動量を確保するため、学年・男女混合で2つの大きなグループをつくり指導にあたる。また、協同的に関

わりを深める学習として「チャレンジ運動の場」「多様な動きを経験する場」の2つの場を設定する。チャレンジ運動の場ではアドバイスし合い、上手にいったことを賞賛し合い、コミュニケーションを深めさせていきたい。多様な動きを経験する場でも同様に異学年でグループやペアをつくり、上級生が下級生に上手にできるコツを教えたり、下級生が上級生の上手な部分を認めたり、互いに声をかけ補助し合うようにしていく。「それいけ！おたすけマン！」と単元名を設定し、友達に「教える」「支える」ことを意識づけ、児童が関わり合う雰囲気をつくっていききたい。

### 3. 単元の見込み

【関心・意欲・態度】 きまりを守り安全に気をつけながら運動を行い、誰とでも仲良く楽しんで取り組むことができる。

【思考力・判断力・表現力】 運動を上手にできる方法を考えたり、友達のよい動きを見つけたり、相手に表現することができる。

【技能】 姿勢や方向を変えて体のバランスを取る動きができる。

### 4. 本単元の言語活動について

○同じグループの児童への賞賛・アドバイス・認め合い

・チャレンジ運動→課題解決に向けて話し合う。

・バランスを取る運動遊び→運動が上手にいくためにどんな工夫をしているか、友達のよい動きを見つけたり、補助の方法について相手に相談したりする。

### 5. 単元の指導計画（2時間扱い）

時	○本時の目標 ・学習活動 ☆言語活動	評価			◇具体的な評価規準 【評価方法】
		関	思	技	
1	○用具や場の使い方に気をつけて、運動遊びができる。【関】 ・チャレンジ運動（並び替え遊び） ・スラックライン、平均台、一本足立ち遊び ☆課題の解決に向けて話し合ったり、友達に安全への声かけを行ったりする。	◎		○	◇運動する場や用具の使い方などの安全に気をつけている。【観察】関ア ◇姿勢や方向を変えて体のバランスを取る動きができる。【観察】技能ア
2 本時	○仲間と協力し、上手にできる方法を考えたり、友達のよい動きを見つけたりし、それを表現できる。【思】 ・チャレンジ運動（棒取り遊び） ・スラックライン、平均台、一本足立ち遊び ☆課題の解決に向けて話し合ったり、友達に補助や助言を行ったりする。	○	◎		◇運動の順番や決まりを守り、友達と仲良く運動しようとしている。【観察】関イ ◇動きを工夫するために補助のしかたを工夫したり、友達のよい動きを見つけたりしている。【観察】思ア

### 6. 本時について

#### (1) 本時の目標

運動を上手にできる方法を考えたり、友達のよい動きを見つけたり、相手に表現することができる。

【思考力・判断力・表現力】

#### (2) 本時における言語活動

○同じグループの児童への賞賛・アドバイス・認め合い

・チャレンジ運動→体操棒を落とさずに移動する方法について話し合う

・バランスを取る運動遊び→運動がうまくいくためにどんな工夫をしているか、友達のよい動きを見つけたり、補助の方法について相手に相談したりする。

(3) 本時の展開 (2 / 2 時間目)

	学習活動	□教師の働きかけ	評価・留意点
導入	<p>○挨拶をし、ウォーミングアップをする ・おにごっこをする</p> <p>○本時の課題を知り、活動の見通しをもつ</p>	<p>□整列をし、挨拶をする。 □つかまったら終わりではなく、たくさん動くことを意識付けさせる</p>	
展開①	<p style="text-align: center;"><b>それいけ！おたすけマン！～みんなでかんがえ、パワーアップしようのまき～</b></p> <p>&lt;チャレンジ運動コース&gt; (久保)</p> <p>○チャレンジ運動の行い方を知り、協力して行う。 (体ほぐしの運動)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①体操棒をもって入れ替わる (2～3人1組) ②5人1組で円をつくり、回る ③きょり、回り方、陣形を変えやってみる。</p> </div> <p>・入れ替われないな～。どうしよう？ ・短いきょりでやるといいよ！ ・もっと遠くしたい！ ・「せーの」で言うてから動こう！</p> <p>○棒を倒さず移動するコツ、他のグループの特長を伝え合い、自分たちの動きを高める。 ・形を星型にしているね！ ・ぼく、○○さんの横に行くよ！ ・せーので、動くよ！ ・棒は相手の方に倒そうね！</p> <p>○全員で円をつくりうまくいく方法を考え、やってみる。 ・かけ声はせーの！時計回りでやろう。 ・両手を伸ばして円をつくらう！ ・みんなのできた～！やったね！</p>	<p>□A班 久保→阿部 B班 阿部→久保</p> <p>□グループ・活動場所を確認し、移動させる。</p> <p>□グループ活動のルールを確認し、肯定的な関わりを促す。</p> <p>□模範をさせ、視覚的に捉えさせる。</p> <p>□動きのポイントとなる言葉を提示する(棒の傾ける方向、棒をもつ場所)</p> <p>□苦手な児童でもできるように、間隔や動く前の姿勢など全員が行うことを確認する。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どうすればうまくできるか考え相手に表現している</p> <p style="text-align: center;"><b>【思考ア～観察】</b></p> </div> <p>うまくできないグループには、短い距離からはじめ、徐々に距離を伸ばすよう促す。</p>
展開②	<p>&lt;体のバランスをとる運動遊び&gt; (阿部)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○平均台遊び ・棒を持って ・横向きで ・後ろ向きで ・平均台じゃんけん</p> </div> <p>これを持つと難しくなるよ 手をにぎってあげる 後ろ向きや横向きに歩いてみようよ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○スラックライン遊び ・友達の補助を借りて立つ、歩く ・はねる</p> </div> <p>両手をつかんで支えてね 片手はなしてみようよ 1秒間だけ手を離すよ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○一本足バランス遊び ・いろいろなポーズをとる ・友達のまねをする ・足を替えてみる</p> </div> <p>サルのポーズをやってみよう 手を伸ばすとバランスが取れるよ 右足と左足をチェンジしてみよう じゃんけんしてあそぼう どっちが長く乗れるかな</p>	<p>□運動例を掲示し、いろいろな歩き方に挑戦できるようにする。</p> <p>□補助者の手助けの度合いの段階を例示し、少しずつ補助の割合をへらしていくようにする。</p> <p>□ポーズの例を示したり、ストップウォッチを用意したりし、いろいろな取り組み方ができるようにする。</p>	<p>事故防止のため、マットを敷く。 補助者には安全のための配慮と声かけを行うように指導する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>友達の補助の仕方を考えたり、上手に運動するための言葉がけをしたりしている。</p> <p style="text-align: center;"><b>【思考ア～観察】</b></p> </div>
整理	<p>○本時の学習を振り返る ・みんなで「せーの」とかけ声を合わせたら、上手にできたよ ・スラックラインから落ちないように右、左と声をかけたよ</p>	<p>□自分がおたすけしたこと、おたすけしてもらったことを発表させる。</p>	

## 7. 場の設定

